

嘉川地域づくり 協議会だより

賀
宝

第6号

平成25年3月31日

発行：嘉川自治連合会
嘉川地域づくり協議会
編集：自治会社会部会

〒754-0897 山口市嘉川 4651-1 山口市嘉川地域交流センター TEL: 083-989-2018



協議会では交通立哨や各季の交通安全運動等に取り組んでいますが、その中で一日ドックの活動を紹介します。昨年11月20日、山口県交通安全学習館で、嘉川地区の高齢者34名が参加して開催しました。

近年高齢者による重大交通事故が多発することを受け、嘉川地区でもその対策として、平成20年から嘉川地域づくり協議会を始め地区の関係団体や多くの組織が協力して毎年講習会を開催しています。

講習会では、学習館内の機器を使用しての危険予知、ダミー人形を使った

協議会では交通立哨や各季の交通安全運動等に取り組んでいますが、その中で一日ドックの活動を紹介します。昨年11月20日、山口県交通安全学習館で、嘉川地区の高齢者34名が参加して開催しました。

近年高齢者による重大交通事故が多発することを受け、嘉川地区でもその対策として、平成20年から嘉川地域づくり協議会を始め地区の関係団体や多くの組織が協力して毎年講習会を開催しています。

講習会では、学習館内の機器を使用しての危険予知、ダミー人形を使った

高齢者交通安全 講習一日ドック

嘉川地区交通安全対策協議会

会長 渡辺 輝男

衝突実験等を学びました。危険予知とは、前方に歩行者がいれば、横断するかもしれない、また自転車は急に曲がるかもしれないと予測して、速度を落とし、気をつけて進行することです。

今年も高齢者による重大事故は増え続け、昨年度は、高齢者による死亡事故が全体の半分以上を占めています。横断中の事故が多く、原因として①夜間は自動車のライトはやや左向きとなっていることから、前方を右から左へ横断する歩行者の発見が遅れること、②歩行者が、左方から進行していく車との距離と速度の判断を誤って、横断を開始することにあると考えられます。

私は、「高齢者は人のこと」くらいに思っていましたが、後期高齢者の仲間入りをし、頭の回転や身体の動きがより緩慢になつたと感じています。今後は、素直に高齢を認め、今以上に余裕を持って行動したいと思います。

当防犯協議会が、今最も重点としているのは、児童生徒の登下校の「見守り活動」と、お年寄りの被害が多くその後を台無しにする「振り込め詐欺の防止活動」です。児童の見守りについては、現在活発に活動している人会を始めとする各組織と連携して恒常に広めていきます。振り込め詐欺について、「甘い話には絶対に乗らない騙されない」という意識を高め根

新聞やニュース報道で、子どもや高齢者が犠牲となる事件事故を見る度に

皆で守る地域の安全

嘉川防犯対策協議会 矢儀 昭人

安心・安全な地域づくりを目指して



「振り込め詐欺」寸劇で対策を学ぶ

日頃の備え、できていますか？

編集部

さる2月2日興進地区、9日嘉川地区の自治会長や会員を対象に「第二回地域防災会議」が開催されました。

2年前の東北大震災は、災害はある日突然いつでもどこでも起きるということを教えてくれました。自分は大丈夫だと思わないで、日頃から災害に対しての知識や対策を持つておられるだけで、9割方危険から身を守ることができます。

そこで「これからぜひ各地区で、自主防災組織を立ち上げて、自分達の地区を皆で助け合い、被害を最小限に止めよう。」と呼びかけがなされました。現在、自主防災組織は下中野、下高根、北ノ江東、寄江地区に結成されています。

では、私達の家庭での日頃の備えはどうす



はじめて踊りました

自治部会 村田 武巳

昨年の文化祭での新企画、「白河踊り」は、100名近くの皆さんのご参加で熱気にあふ

る文化祭での新企画、「白河踊り」は、100名近くの皆さんのご参加で熱気にあふれていました。今年も山口県下で広く踊られている盆踊りで、嘉川では4地区で踊られています。このように歴史的由緒ある「白河踊り」を

非常持出品がコンパクトにセットされて売られています。参考にされて、購入等のお問い合わせは、嘉川地域交流センター（TEL：989-12018）にお尋ね下さい。

「白河踊り」は、もともとは福島県白河地方の踊りです。今から145年前の慶応四年（1868年）の戊辰戦争、今年の大河ドラマ「八恵の桜」の舞台である会津若松への入り口、白河口での3ヶ月間にわたる大激戦で多くの死者を出しました。これに参戦した長州の諸隊（農民等の部隊）の兵士が持ち帰つたものといわれています。



文化祭での白河踊り

ればいいのでしょうか。災害が発生する前に各家庭でしておくことは

- 家具などの転倒・落下防止の安全対策
- 山口市が発行する「防災マップ」を見て、自分の住んでいる地域の危険の確認

- 災害が発生したらすぐに持ち出せる「非常持出品」をリュックサックなどに入れておくこと

などです。

会議では、数々の非常持出品が展示されました。これらの中から、我が家では何が必要かチェックして購入しておくことも大切です。

「非常持出品」の例

飲料水、食品（ペットボトル、乾パン、缶詰、レトルト食品）、懐中電灯、携帯ラジオ、救急セット、貴重品（多少の現金、保険証）、生活用品（下着、肌着、くつした、マッチ、ろうそく、ラップ、笛、ブザー）など



桜の植樹

嘉川地区 花だより

☆桜…山口市南部運動広場
南部運動広場周辺には、平成3年に地元住民により植栽された約150本の桜があり、地域住民や施設利用者等の目を楽しませています。見頃は3月下旬～4月上旬頃です。

☆ジャーマンアイリス…渡邊文明さん宅(寄江)
特に好きだからと珍しい球根を取り寄せて畑にたくさん植えています。5月初旬が見頃です。

(場所／金清踏切と山陽本線嘉川駅の間)

☆アジサイ…山村清さん宅(上中野)
5月末から6月にかけて、約20種類のアジサイの花が咲き乱れます。駐車場もあります。どうぞアジサイの花をご堪能ください。

(場所／大原I.C.から北に100m進んだ右手高台)



☆バラ…山口市南部運動広場
協議会では、永年夏花壇を中心、「花いっぱい運動」に取り組んできました。24年度は更に冬春花壇の充実を図り、嘉川地区子ども会育成連絡協議会と共催でパンジー、ビオラ、デイジー、ノースボールの苗を斡旋しました。



バラ

花のそんぽ道

（嘉川に桜の公園がほしい／＼）

嘉川地域づくり協議会 会長 佐光 邦靖

嘉川には、本格的な公園がない。

公園とは、「人々の憩いの場として、自然の風致景観を維持している場所」をいう。

近年住宅化が進んでいく中で、四季の季節を味わう子ども達、友人、家族が憩う場となる公園がほしいのは住民の願いである。

しかしながら、公園の設置のためには「土地がない」「資金が必要」など諸問題を解決しなければならない。「土地があれば、市の方で設置は可能」と望みをつなげながら、その模索を続けている昨今である。

ならば、「出来ることから始めていこう」地域内の路側周辺に、協力を頂きながら2～3本でもよいから桜やもみじを植えていきたい。そうすれば道端の植樹が連なって、春には桜、秋にはもみじの紅葉と季節を彩る嘉川を形成することができると思う。

「道端の植樹可能場所」など、よい工夫があれば（地域づくり協議会）へぜひご一報をいたされば幸いである。

まずは、地域内の花を紹介して『花のそんぽ道』としたい。

冬春の季節も 花にあふれる嘉川に

（花いっぱい運動／＼）

社会部会

協議会では、永年夏花壇を中心、「花いっぱい運動」に取り組んできました。24年度は更に冬春花壇の充実を図り、嘉川地区子ども会育成連絡協議会と共催でパンジー、ビオラ、デイジー、ノースボールの苗を斡旋しました。

アジサイ



テーマ

ふるさと嘉川への私の想い

私の原点「嘉川」

高校一年 金村 知徳(上嘉川)

昨年、高校生になりその時から一年が経とうとしています。この生まれ育ったふるさと「嘉川」は自分にとつて大切なことを教えてくれた場所です。

一つは、人と人との和です。嘉川の人達はいろいろな行事などをまわりの人達と助け合ひながら行つてきました。和を作りお互いのことを思い、助け合いながら何か一つのこと

をする事はとても大切なことです。さらに嘉川の人達はみんな元気です。小さい子どもからお年寄りまでとにかく元気いっぱいです。僕はこの元気が嘉川をいつも明るくしてくれているのだと思います。

今住んでいる嘉川は緑も多く、自分にとつてもとても過ごしやすい場所です。未来のことはまだ分かりませんが確実に分かることがあります。嘉川や嘉川の人達は僕の中で一番大切で、なくてはならないという存在です。



ふるさとでの子育て

野寄 晶子(上高根)

私は4歳から嘉川で育ち、今は母となって我が子を同じ嘉川で育てています。

数十年前は、学校や地域にも多くの子どもたちがいて、年齢に関係なくよく遊んでいました。地域のつながりもあり、春には「お花見運動会」が行われ、地区の人たちと楽しく参加していましたことを今でも憶えています。

今年度から仕事の都合で下校時間に間に合わない親に代わり、地域の多くの方が見守り隊として協力して下さっています。地域で子どもたちを育てていただくことに感謝すると共に、子どもたちが豊かな体験ができるよう地域の方たちと一緒に活動していければと思っています。



ここ数年上高根も子どものいる家庭が減少し、以前と同じように様々な活動をしていくことが難しくなっています。子どもたちにはドッヂビーなどの子ども会活動や、再生品回収、地区の体育祭などいろいろ体験してほしいのですが、何をするにも人数が足りず参加できなくなっています。



“いきいき活動”をめざして

団体およびサークル紹介

たくさんの団体やサークルが活動しています。ぜひご参加ください。

”頑張っています“

嘉川婦人会

会長 井上 栄子



体育祭への参加

”一緒に歌いませんか“

コール川西

代表 徳地 幸枝

毎月第2火曜日に行われるコール川西定期会。歌の指導の間に、中村良枝先生は人生の先輩としての話を、ユーモアたっぷりに話されます。この調子でみんな楽しく美声が出るので。

中村先生の指導、原田先生のピアノ伴奏で、全員の気持ちがひとつとなり、声となり美しいハーモニーとなつて流れます。現在会員21名、年齢は50代～70代ですが、発声は若者には負けません。いつも交流センター行事のオーブニングを飾っていますが、6年前から老人施設「まごころの家」「ハートホーム」を慰問し、夏は七夕、冬はクリスマスソングをプレゼントしています。入居者・デイサービスの方と一緒に歌い、喜ばれています。

嘉川文化祭、嘉川体育祭、ふるさと学習、三世代交流ふれあいウォーク等、地域活動に積極的に参加しています。

地域の皆様のあたたかいご支援とご協力の程、よろしくお願ひいたしますとともに、一人でも多くの方々の入会をお待ちしています。

②お楽しみ講座：料理、旅行、手芸など年4回等の教室を開き日本の文化に触れることができます。

①なでしこ学級：「日舞」「着付け」「編物」等の教室を開き日本文化に触れることがあります。

⑥その他（共催）

学習に取り組み自己の充実を図るとともに、ボランティア活動を通して、少しでも多くの方々の手助けや社会貢献が出来ればと張り切っています。これからも「元気で、楽しく、できることから…」を合い言葉に、地域の皆さん方の幸せを願い活動をしていきたいと思っています。主な活動内容は次のとおりです。

③秋の夜のコンサート（主催）：婦人会が中心となって毎年9月に開演。地域の皆様とともに音楽で楽しい夕べを過ごしています。

④山口市資源回収推進事業（つくり事業）への参加、および婦人会即売会の実施。

⑤嘉川婦人防火クラブ：防火研究会を開催し、地域での啓発活動を続けています。



「秋の夜のコンサート」

皆様も入会され、共に歌いましょう。



嘉川地区の 古い写真などを 探しています

左記のような写真や資料・情報等をお持ちの方は是非ご一報ください。

- 一、公共又はそれに準ずる建物の写真
- 二、昔から伝わる行事の写真
- 三、ニュースになった出来事の写真
- 四、今はなくなった生活風景が分かる写真
- 五、特産品製造風景 牡蠣打ち、海苔干し、紙漉作業、瓦製造、石灰・蠣灰製造、酒・醤油醸造、鍛冶鋳物
- 六、生活の様子が分かる古い行事の記録 地区行事で出費した当時の費目・物価記録

■嘉川地域交流センター 内
嘉川自治連合会事務局

(☎: 989-2018)

編集後記

2年前の東北大地震は、個人の備えと地域住民としてお互いに支え合う“しくみづくり”的大切さを教えてくれました。“備えは本当に大丈夫？”この思いが地区全体に広がることを願っています。

結婚を機に山口に来て子育てについて話せる人もいなかつたので、来られているお母さんたちやスタッフの方とお話しでき、すぐ気が楽になりました。

広々とした空間で子どもも自由に動き回れて、お友達と楽しそうに遊んで、今ではなくてはならない場所になりました。

初めての子育てで行き詰まっていたけど、来て本当に救われました。

砂場のおかげで外で遊ぶことができ、気持ちがいいです。

子どもはハグシで遊ぶのが楽しい様子。

外は新しい発見だらけのようで、満足した表情を見せてくれます。親としてもうれしいです。

まだハイハイなので公園で遊ぶこともできず、家の内で2人きりで過ごしていると、一日がとても長く感じ、息が詰まる毎日でした。

遊びに来るにあたり、大きいお兄さんやお姉さんのジャマになってしまふことが心配でしたが、スタッフの方も、お母さん方も暖かく迎えていたとき、ありがたい気持ちでいっぱいです。

広々とした空間で子どもも自由に動き回れて、お友達と楽ししそうに遊んでいるので、とても楽しい場所になりました。

最初は父親が行つてもいいのだろうかと少し不安もありましたが、スタッフや利用される方が非常に親切で、すぐにはじめました。

また、うちの子たちと同い年の子どもと接する機会が少ないので、たくさん遊びて、こっちも楽しかったです。

妻から話を聞いていたので、一度は行つてみたいと思っていました。いつもは人見知りの子たちがすゞしく楽しそうに遊んでいるので、とても感動しました。

また、うちの子たちと同い年の子どもと接する機会が少ないので、たくさん遊びて、こっちも楽しかったです。

嘉川こども館

しゅつぽっぽ 利用者の声

つぶやき
ノートより

双子の父親です。

妻から話を聞いていたので、一度は行つてみたいと思っていました。いつもは人見知りの子たちがすゞしく楽ししそうに遊んでいるので、とても感動しました。

古記録・古写真委員会では、埋もれている資料の発掘・収集を引き続き行っています。お持ちの方はご協力ををお願いいたします。



昭和56年8月 旧嘉川公民館前庭で行われた盆踊り大会

嘉川ふるさと写真館

あなたは「あいさつ運動」を知っていますか？

— あいさつ運動についてのアンケート報告 — 嘉川地域づくり協議会社会部会

嘉川地域づくり協議会では、安全で明るく住みよい故郷づくりを目指して、永年「あいさつ運動」を取り組んできました。また具体的な活動として平成22年度に標語、23年度は作文やエッセーを募集しました。その中で小・中学校では「あいさつ運動」に熱心に取り組まれ、子ども達も積極的に地域の人と関わろうとしている様子を知ることができました。一方大人は応募数も少なく関心が低いと思われましたので、どうすれば住民の関心を高め、地域全体に運動を浸透できるか考えるためにアンケートを実施しました。

○実施期間 平成24年8月29日～9月28日(1ヶ月)

○対象者 単位自治会長、嘉川自治連合会構成団体(25)の会員 139名

○回収 120名 回収率 86%

【集計結果】

○回答者内訳 (図1)

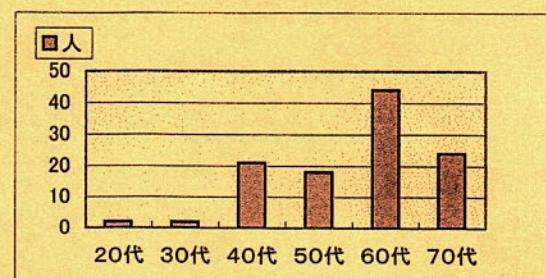
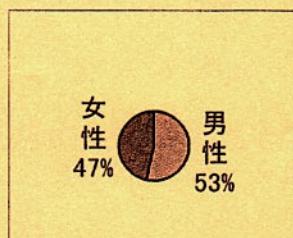


図1 回答者内訳

図2 年齢別構成

問1 あなたは嘉川地域が「あいさつ運動」に取り組んでいることを知っていましたか。(図3)

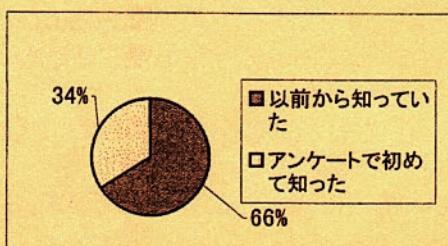


図3 知知名度

問2 あなたはどのような取り組みを知っていましたか。(複数回答) (図4)

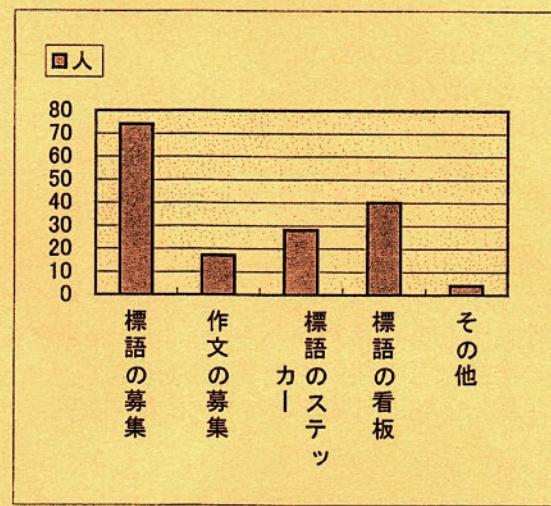
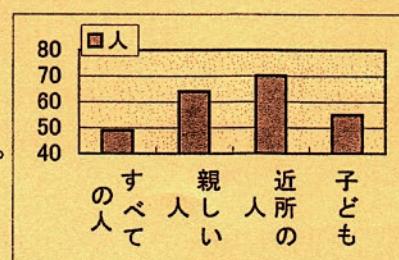


図4 活動内容の認知度

☆【その他】への書き込み

- 昔からしていたような気がする。
- 道ですれ違いに挨拶する。
- 子ども達への声かけ
- 会議
- 小学生、中学生が実によく挨拶する。

問3 あなたは「あいさつ運動」に関心がありますか。(図5)



問4 誰に挨拶しますか。
(図6)

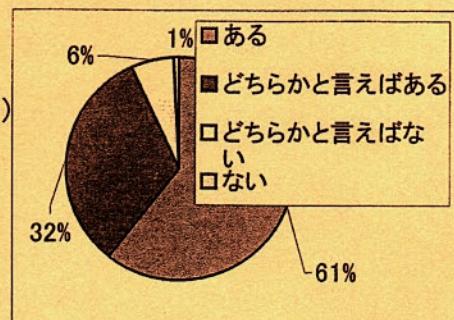


図5 関心度

図6 あいさつの相手

問5 地区の子どもにあいさつしますか。
(図7)

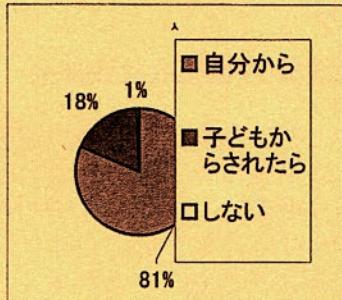


図7 子どもへのあいさつ

問6 あなたはあいさつの効果を
どの様に考えますか。 (図8)
(複数回答)

☆【その他】への書き込み

- ・高齢者の見守り、孤立を防ぐ。
- ・子どもの躾には必要。大人に対する運動は不要
- ・積極的になる。

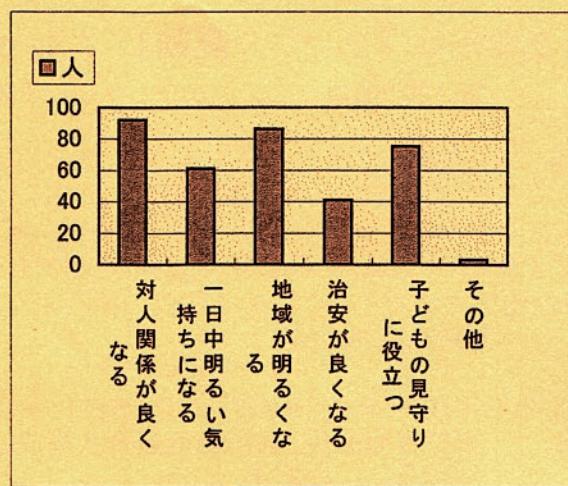


図8 あいさつの効果

問7 効果的な「あいさつ運動」をすすめるために、ご意見があればお書き下さい。

☆沢山のご意見をいただきましたので、代表的な意見を一部ご紹介します。

◎自分から積極的に行動する

- ・まず隣人に自分から積極的に声をかける。つぎに若者（中高生等）に声かけする。
声かけは相手の存在を認めることであり、交流の輪が広がると思う。
- ・返事がこななくても子ども達に根気よく大人の方から声かけをする。そうすると少しずつ返ってくる。
- ・とにかく自分の方から挨拶をしていくことが大切と考える。コミュニケーションの始まりであり、子ども達にも伝えていきたい。
- ・先ず自分から進んで、相手に聞こえる程度の声で挨拶をする。たとえ返事が返ってこなくても、いつの日いか、こちらの意が通じて和やかな雰囲気が生まれると思います。
見守りに立っていて感じたのですが、高校生特に男子生徒は始めは素知らぬ顔をしていましたが、男子高生の方から挨拶をするようになりました。

◎運動・啓発

- ・このような運動を根気よく地域全体に徹底する。
- ・個々の意識が必要と思われるため、自治会毎に集いを利用して意識付けを促して貰う。
- ・自治会の総会などで住民に徹底してもらうこともいいのでは…。私の自治会ではこのような話は一切出てきません。回覧だけでなく、聞くこと、「耳」に訴えることで意識はより高くなると思います。

◎気付き・感想

- ・最近中学校の生徒はよく挨拶をします。
- ・気付きます。嘉川で大人の面識のない方に挨拶をした場合、30歳代までは比較的返してもらえるが、40~50歳代の男性は、全く無視をされる方が多い。声かけが面倒なのか自分の世界に入ってきてほしくないのか。この状態で子ども達に「挨拶」の指導は出来ない。60歳以上の方は比較的挨拶を返してくれる。
- ・かつてはPTAなどでは“知らない人には声をかけない”などと言っていましたが、知らない人でもそれ違いの時、最低でも会釈、ついでに「コンニチワ」ぐらいできれば最高です。
- ・早朝のウォーキングをよく見かけますが（夕方も）あまりあいさつを交わす様子がありません。知らない人ばかりです。同じ目的、同じ行為をしているのなら挨拶くらいは欲しいものです。山登りは当然のマナーになっているので、ウォーキングもこうなつたら楽しいと思いませんか？
- ・小学生の下校時に、もう少し、地域の人とあいさつ出来たらいいのにな…と思います。

アンケートの結果では、回答者の1/3の人が地域での「あいさつ運動」推進活動を知りませんでした。この活動は、一朝一夕に結果が得られるものではありませんが、いただきましたご意見を参考にして、地域全体に「あいさつ運動」が広がるよう、今後も活動を続けていきたいと思います。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。